

オゾンモニタ EL-700A トラブルシューティング

トラブル	原因	確認・処置方法
ゼロ補正 ができない	水銀ランプ 切れ	<p>センサ1・2の光量値を確認してください</p> <p>光量が500以下の場合は、水銀ランプを交換してください。 →取扱説明書：「10.3 (1)水銀ランプの交換」の項参照</p>
	光学セルの 汚れ	<p>センサ1(S1)に対しセンサ2(S2)の光量が非常に小さくなってしまっている場合(半分以下)、光学セルが汚れている可能性があります。</p> <p>試料水中にオゾン以外のフッ化水素・水分などの物質が含まれている場合、モニタ内接液部を浸食・汚損・白濁させることがあります。改善されない場合、セルの交換が必要になります。弊社までご連絡ください。</p>
指示が不安定	水銀ランプ 点灯不良	<p>ランプの点灯が不安定になっている可能性があります。水銀ランプは、時間と共に光量が減少し点灯しづらくなります。ランプ交換をしてください。</p> <p>→取扱説明書「10.3 (1)水銀ランプの交換」の項参照</p> <p>(点灯が不安定の場合、一端電源を遮断し、数分後再度電源投入すると安定する場合があります。)</p>
	オゾン水測定の場合気泡が混入している	<p>本器は脱泡機能が内蔵されていますが、気泡の量が多すぎるとパルスノイズとなり、表示が不安定になる場合があります。表示が不安定の場合は下記に従い対処してください</p> <p>①流量調整を行う オゾン水が負圧になっていないか確認してください。負圧だと気泡が出やすくなります。</p> <p>取扱説明書「図-6 配管例」を参考にニードルバルブや流量計を取り付けます。吸引ポンプを利用しサンプリングするときは外部ニードルバルブをモニタ出口側に、水圧を利用する場合はモニタ配管部入口に外部ニードルバルブを取り付けます。流量計の指示を参考にニードルバルブで流量を調整します。</p> <p>②脱泡器等を取付ける 上記流量調整でも改善しない場合、脱泡器を取り付けて 気泡を取り除いてください。</p>

トラブル	原因	確認・処置方法
表示が低く出る	流量が少ない	EL-700Aの規定流量は配管径により異なります。規定流量以下でも濃度測定は可能ですが、オゾンの分解により濃度が低く出たり、応答速度が遅くなる場合があります。
	ゼロ補正がずれている	<p>オゾンが含まれない原料水(ゼロ水)を流した状態でゼロ補正を行ってください。オゾン水が流れている状態でゼロ補正を行ってしまうと、そのオゾン濃度値がゼロ点となってしまう、基準がずれてしまいます。</p> <p>また、センサの経年感度変化やセルの汚れ、周囲温度の変化等により、ゼロ点変動することがあります。1日に1度ゼロ補正を行ってください。</p>